

# 2026年 新作大型人形劇

キャスト/6名  
上演時間/75分(予定)  
観客数/～500人

—そして、ぼくらは走り始める！

# シーラカンスと ぼくらの冒険

原作・歌代朔(あかね書房刊)  
脚色・演出・長谷川友香 制作・山本いずみ 河合有

## 人形劇が生み出す“リアリティ”

シーラカンスとの不思議な友情、目の前をいきいきと泳ぐ魚たち、満天にかがやく星空や古生代へのタイムスリップなど、人形劇だからこそ表現できる物語の《リアリティ》があります。「モノ」である人形にさまざまな感情を見出し、いつもの体育館に現れる「物語の世界」を主人公たちと駆けぬげる時間は、**子どもたちが自分で発見・吸収する「深い体験」**となって残ります。他にはない観劇体験を、どうぞお楽しみください。

## 未来をつくる“冒険”を子どもたちに

僕らの不安を解消してくれるものは、敷かれたレールの上にあるんじゃない。遠くに見える光を目指して、まだ知らないワクワクするような場所へ、自分の足で進んでいきたい——

**きらりと光る好奇心やわくわくドキドキする冒険心、自分や誰かの思いを大切にしたいと願う心**は、たとえ小さくてもこの世界をよりよく、新しくする可能性を秘めています。

地下鉄から遥か宇宙を目指す師匠と一緒に、子どもたちが夢と冒険心を持ち続けられますように。

## 驚きは“探究心”に そして“自分で考えること”に繋がっていく

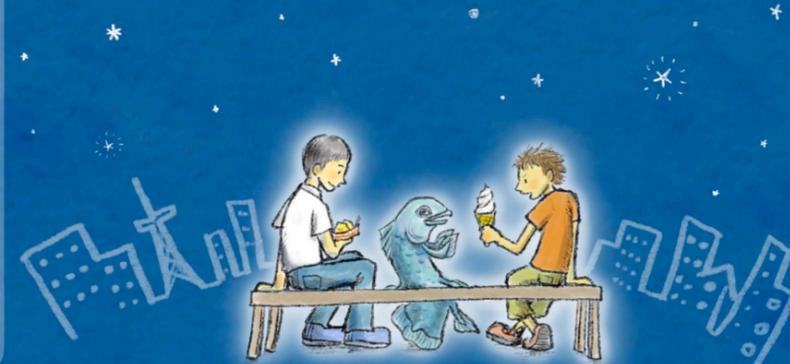
「なぜ?」「どうして?」「どうなっているの?」  
見たことも聞いたこともないものに出会って生まれる探究心。

「普通じゃない」「わからない」「こんなっておかしい!」  
深まる謎と、友情と、ぶつかり合うそれぞれの思い。

「何とかしなきゃ」「守らないといけないものは何だろう」  
考えて考えて、自分と友達のために決断し、行動していくこと。

大きな夢を持ったシーラカンスと出会った二人の少年は、**“僕らが本当に望むもの”“大切にしたいもの”**を自ら考え、行動していきます。

「こんなとき、わたしならどうしていただろう?」  
観劇後、子どもたちと一緒に考えてみたくなる物語です。



### 舞台諸条件(予定)

- ・舞台間口/14m
- ・舞台奥行き/7.5m
- ・天井高/5m
- ・必要電気容量/3線 60A  
※分電盤から直接配線します
- ・設営時間/3時間半
- ・片付け時間/2時間  
※平土間の場合  
(固定席ホールの場合は設営に5時間必要です)



写真/同規模作品『とどろヶ淵のメッケ』

### スタッフ

脚色・演出/長谷川友香  
美術/清水正年  
音楽/本田真輔  
照明/森田智子(Jerry Beans)  
制作/山本いずみ・河合有

## 人形劇団京芸

劇団ホームページ <http://www.kyougei.com>



1949年に創立された日本有数の歴史を持つプロ劇団。京都府宇治市に稽古場を構え、小学校や幼稚園・保育園での活動を中心に、文化庁や全国の行政主催公演、おやお劇場や地域のイベントなどで数多くの人形劇を上演している。平成9年に文化庁芸術祭優秀賞を受賞した『モモ』や、日本人形劇大賞金賞を受賞した『魔女のたまご』『ちいさくなったパパ』など受賞歴多数。近年では小学生向け作品『とどろヶ淵のメッケ』が令和6年度児童福祉文化賞を受賞。毎年新しい作品を制作、上演を続けている。

### 上演のお申し込み・お問合せは

Tel **0774-21-4080** (平日10:00～17:30 水のみ16:00まで) Fax 0774-21-4092  
Email [office@kyougei.com](mailto:office@kyougei.com) 〒611-0022 京都府宇治市白川鍋倉山 35-20